

令和4年度第1回北秋田市総合教育会議 会議録

1. 開催期日 令和4年5月30日（月）
2. 開催場所 北秋田市役所第二庁舎 第三会議室
3. 開会及び閉会 開会：午後1時30分 閉会：午後2時55分
4. 出席者 北秋田市長 津谷 永光
＜北秋田市教育委員会＞
教育長 佐藤 昭洋
委員 佐藤 正俊
委員 佐藤 英樹
委員 蒔苗 隆
委員 藤本 基子
5. 欠席委員 なし
6. 出席職員 ＜教育委員会事務局＞
教育次長 小坂 竜也 総務課総務係長（書記） 工藤 留理子
総務課長 小笠原 隆 北部学校給食センター所長 笹代 孝徳
学校教育課長 山田 理 義務教育係長 藤田 学
生涯学習課長 小塚 重光 生涯学習係長 中島 礼美
スポーツ振興課長 野呂 雅弘 文化係長 渡辺 靖光
スポーツ係長 松橋 康浩
7. 案件 (1) 北秋田市教育大綱の一部変更について
(2) 令和4年度主な教育施策について
(3) 意見交換

8. 会議録

| | |
|--------|--|
| 小坂教育次長 | <p>ただいまから、令和4年度第1回北秋田市総合教育会議を開会いたします。 はじめに、津谷市長からご挨拶をお願いします。</p> |
| 津谷市長 | <p>本日は御多忙中にもかかわらず、第1回北秋田市総合教育会議に御参集いただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>また、教育委員の皆様方におかれましては、常日頃、北秋田市の教育行政に多大なる御尽力、御協力をいただいておりますことに心から厚く感謝申し上げます。</p> <p>まずもって、去る25日でありますけれども、チャレンジデー、おかげさまで、0.9ポイント差という僅差で、最初にチャレンジデーを行った時の対戦相手でありました、佐賀県神埼市に勝つことができました。これも、本日お集まりの教育委員の皆様はじめ、市民の皆様の御尽力と御協力の賜物であり、心から厚く感謝申し上げます。市民の皆様が体育、スポーツに対し、非常に関心が高いということは私も誇りでありまして、これからも、健康で住みよい北秋田市づくりのために、皆様とともに頑張っていきたいと考えを新たにいたしましたところであります。</p> <p>新型コロナウイルスが拡大し始めてから、3回目の夏を迎えようとしております。学校現場を含めて、教育委員の皆様方におかれましても、学校内での感染に伴い、難しい判断や対応を迫られて、大変御苦労されていることと思っております。</p> <p>また、コロナ禍で、これまでの学校教育や学校行事などの在り方が大きく変化をする中で、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように、学習環境の整備や、感染症対策に御尽力をいただいておりますことに、心から敬意と感謝を表したいと思います。</p> <p>先ごろ、国が公表しました3回目のワクチン接種の進捗状況では、本県の接種率が65.9%と全国で最高となりましたが、当市の接種率も直近で85.3%となっております。また、5歳から11歳までの小児ワクチン接種率につきましては、1回目の接種率が52%、2回目の接種率が51.1%となっております。</p> <p>さて、令和4年度は、市政運営の基本となります第2次北秋田市総合計画後期基本計画や、昨年の総合教育会議で策定されました北秋田市教育大綱が2年目を迎えるわけであります。</p> <p>教育委員会部局に係る重点事業といたしましては、北秋田市小中学校適正規模配置再編プランに基づく学校の再編として、阿仁地区3校の閉校と義務教育学校阿仁学園の開校に向けて、関係機関と連携をしながら、計画的に準備を進めてまいりたいと考えているところであります。</p> <p>本日の会議では、教育大綱の一部変更と、今年度の主要な教育施策が議題の中心となっております。コロナ禍においても前へ進むことが出来ますように、教育委員の皆様からは、忌憚のない御意見や御発言をいただきますよう、心からお願い申し上げます。</p> |

| | |
|--------|---|
| 津谷市長 | <p>して開会にあたりましての私からの御挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いたします。</p> |
| 小坂教育次長 | <p>ありがとうございました。 続きまして、佐藤教育長から挨拶をお願いします。</p> |
| 佐藤教育長 | <p>皆さんこんにちは。一昨日の大阿仁小学校、そして、昨日の鷹巣中学校の体育祭で、市内全ての小中学校の運動会や体育大会が終わりました。天候に恵まれない学校もありましたけれども、新型コロナウイルス感染症により、開催そのものも検討しなければならなかったこの2年間を経て、規模を縮小したり、学年、学団毎に時間をずらして実施したりするなど、感染対策を講じて実施出来たところでございます。</p> <p>大阿仁小学校として最後の大阿仁スポーツフェスタとなりました大阿仁地区では、児童16名を含めて地域住民が約100名集まりまして、非常に温かい雰囲気の中で、体育館ではございましたけれども競技が繰り広げられました。今日新聞にも出ていたけれども、聖火ランナーが登場して点火してから、最後の競技で内陸線を模した電車に乗って、子どもが1人に地域の人が3人電車に乗るんですね。電車に乗って、一つの絵柄を作っていくという楽しい競技もありまして、大阿仁小学校が最後だということ地域の人たちと一緒にかみしめている行事でございました。</p> <p>中学校の修学旅行も、関東に1校、それから東北地方へ2校、県内1校と4校全ての中学校で終了いたしました。ウィズコロナが浸透してきていることを、少しずつ感じております。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症については、室内の活動でのマスクの着用やうがい手洗いなどの基本的な対策はもちろん、エアコンやサーキュレーター、非接触式検知器、それから先日議決した補正予算で購入予定のセンサー式ディスペンサー、電動アルコールスプレー、演台用アクリルパーテーション等を活用しながら、油断することなく対策を講じてまいりたいと考えております。</p> <p>さて今年度、第4次北秋田市社会教育中期計画がスタートしました。</p> <p>先ほど市長のお話にもありましたが、昨年度にスタートした第2次北秋田市総合計画のまちづくりの基本理念3であります「命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり」この目標を具現化させるため、今回の社会教育計画の基本理念は、「ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり」と改定いたしました。</p> <p>同じく昨年度からスタートしている第2次北秋田市学校教育ビジョンや北秋田市スポーツ推進計画と併せて、新たな計画のもとで、学校、家庭、地域、行政の連携を一層強化することで、活力ある教育行政が推進できるものと期待しているところでございます。</p> <p>本日の総合教育会議では、教育委員会で今年度の主な教育施策について事務局から提案がありますが、委員の皆様からも忌憚のない御意見をいただきますようお願いし、私の挨拶させていただきます。ありがとうございました。</p> |

| | |
|---------|---|
| 小坂教育次長 | <p>それでは案件に入らせていただきます。</p> <p>北秋田市総合教育会議運営要綱第3条第3項の規定によりまして、議長は市長が行うことになっておりますので、市長に案件の進行をお願いいたします。それでは、よろしくをお願いいたします。</p> |
| 津谷市長 | <p>それでは要綱に従いまして、議長を暫時務めさせていただきますので、御協力のほどをよろしくをお願いいたします。早速案件の方に入らせていただきます。</p> <p>案件（1）の北秋田市教育大綱の一部変更について、これについての説明をお願いします。</p> |
| 小笠原総務課長 | <p>それでは、教育大綱の一部変更について説明してまいりたいと思います。</p> <p>昨年の令和3年度第1回総合教育会議の案件によりまして、令和3年度から令和7年度まで、当市の教育行政の根幹となる教育大綱を定めていただきました。</p> <p>資料1ページ、1策定の趣旨の点線で囲まれた朱書きの部分をご覧ください。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3、下段の第2項になります。地方公共団体の長は大綱を定め、又はこれを変更しようとするときは、総合教育会議において協議するものとする定められています。</p> <p>資料2ページをお開きください。今回、この教育大綱5基本的な方針の2) 目標①から③、⑤の青書きの部分になりますけれども、変更する必要が生じまして協議をお願いしますのでございます。</p> <p>変更の理由といたしましては、生涯学習課所管であります社会教育法に基づく、第4次北秋田市社会教育中期計画が令和3年度に審議されまして、令和4年1月27日開催の定例教育委員会において議決されてございます。その中期計画の基本理念が、「ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり」に変更されたことから、教育大綱の5基本的な方針と、2) 目標について一部変更するものでございます。</p> <p>詳細については、新旧対照表で説明いたします。新旧対照表をご覧ください。右側が現行の教育大綱でございます。左側が改正案で、アンダーライン部分に変更案となります。5基本的な方針の2) ふるさとに学び文化をはぐくみ笑顔あふれるひと・まちづくり 目標①協働による持続可能な地域づくり②共に学び合える生涯学習の推進③子どもたちをはぐくむ学校・家庭・地域社会の連携④については変更はございません。⑤文化財保存・継承の推進 に変更するものでございます。いずれも、第4次北秋田市社会教育中期計画の策定に伴います教育大綱の一部変更となります。</p> <p>御協議のほう、よろしくをお願いいたします。</p> |
| 津谷市長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただいま説明がございました内容につきまして、教育委員の皆様から御意見、御質問を賜りたいと思います。</p> |

| | |
|---------|--|
| 委員 | 特にありません。 |
| 津谷市長 | よろしいですか。 特にないようですので、原案のとおり決定ということでよろしいでしょうか。 |
| 委員 | はい。 |
| 津谷市長 | ありがとうございました。 同意いただきましたので、大綱については原案のとおり変更させていただきます。 次に、案件（２）令和４年度主な教育施策について、各課から説明をお願いいたします。 始めに、学校教育関係について、総務課と学校教育課から説明をお願いいたします。 |
| 小笠原総務課長 | <p>それでは総務課分から説明してまいりたいと思います。</p> <p>１．学校施設・設備の整備事業ということで、主なものといたしましては、鷹巣小学校地下タンクFPRライニング工事、鷹巣東小学校と合川中学校の外部防水工事、森吉中学校の体育館の屋根塗装工事と防火設備改修工事を予定しております。なお、小・中学校の予算額といたしまして、4,820万円計上してございます。</p> <p>２．設計業務委託でございます。令和6年4月の義務教育学校阿仁学園の統合に向けて、令和5年度に実施する大規模改修工事の設計業務を委託してございます。主な工事の内容といたしましては、体育館の屋根改修工事、教室の改修、トイレの洋式化、給排水設備の改修、照明LED化を予定してございます。</p> <p>３．あきたリフレッシュ学園と教育留学の推進事業でございます。あきたリフレッシュ学園につきましては、市内小学生1名、市内中学生4名、市外小学生3名、市外中学生7名の計15名でスタートしております。様々な要因から、学校に登校出来なくなった児童生徒に対して、学校復帰に向けて、心身の回復に引き続き支援してまいりたいと考えてございます。</p> <p>教育留学推進事業につきましては、県教育委員会の委託事業でありまして、県境を越えた移動を伴う事業であり、新型コロナウイルスの影響で、一昨年来受け入れを休止してございます。各地の感染状況を注視しながら、事業再開について県教育委員会と協議してまいります。</p> <p>４．学校統合に伴う学校施設整備の計画の検討、令和6年4月の米内沢小学校と前田小学校の統合について、米内沢小学校の改築工事に関しては、現在、必要がないものと想定しておりますが、校舎等に関して再度確認してまいりたいと考えています。また、前田小学校に関しては、廃校に伴う既存学校施設の用途変更やグラウンド施設内にある構造物の撤去について検討してまいります。</p> |

| | |
|----------|--|
| 小笠原総務課長 | <p>5. 安心・安全な学校給食の提供、学校給食については、適切な栄養摂取はもちろんのこと、食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることや、地域の優れた伝統的食文化について理解を深められるような食育の取組を推進してまいります。</p> <p>また、食物アレルギー対応、食中毒防止、異物混入防止等に細心の注意を払い、安心、安全でおいしい給食の提供に努めてまいります。</p> |
| 山田学校教育課長 | <p>続いて、学校教育課から説明させていただきます。</p> <p>4ページをご覧ください。大きく三つの柱がございます。まず一つ目、第2次北秋田市学校教育ビジョンの具現化ということで、北秋田市学校教育ビジョンを策定して2年目となります。まだまだ周知していかなければいけないと考えておりますし、「北秋田市の教育」7ページにもありますが、三つの重点目標に沿った取組をしっかりと実施していきたいと考えております。そのためにも3点目にありますが、教育センター事業を活用した教職員の支援が必要と考えており、現在、3名の推進監がしっかりと取り組んでいるところであります。</p> <p>4点目、ICTを活用した学習活動、1人1台端末の学習環境、2年目を迎えております。昨年度は「まず使う」というふうに話をしておりました。今年は「どう使うか」ということに視点を変えて、しっかりと取り組んでいきたいと思っているところであります。併せて、家庭へのタブレット端末の持ち帰り等、様々な事に対応したルール作成、まだ、半ばではありますがしっかりとしたものを策定するように考えているところであります。</p> <p>そして5点目になりますが、総合学習補助事業、各校の活動を広報きたあきた等を通じて、地域の皆様にこういうことやっていますというのを伝えるべく、現在検討に入っているところであります。併せて、ふるさと教育、キャリア教育に欠かすことの出来ない、地域の素材、地域の人たちを活かすためにも学校運営協議会としっかりと連携し協働していきたいと考えています。</p> <p>続いて、二つ目であります。教職員の働き方改革であります。1点目にあります出退勤管理システムによる客観的な方法、2点目にあります時間外在校等時間をしっかりと把握するというところであります。この点につきましては、この後の教育委員会会議でも、北秋田市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の策定を目指しまして、今年度からそれを基準として徹底していきたいと考えているところであります。</p> <p>3点目にありますが教職員の校務の効率化、削減を目指した校務支援システムの効果的な活用に向けては、推進監2名が、実際に設定した業者の協力を得ながら活用方法を検討しております。そしてまた4点目にもありますが、活用方法等の検討のためのアンケート調査を今年も行い、昨年度の調査結果も活かしながら、システムの改善、効果的な活用方法についてしっかりと取り組んでいるところであります。</p> <p>三つ目の小・中学校の再編につきましては、1点目は、先ほども話題になりましたが、阿仁学園の開校に向けた準備です。今年度は、統合準備委員会を一度開催しておりますし、その際の結果等を「統合準備委員会だより」として、5月20日付で阿仁</p> |

| | |
|----------|---|
| 山田学校教育課長 | <p>地区の住民の方々に大阿仁小学校と阿仁合小学校の学校報とともに配布しているところであります。</p> <p>それから令和6年度の米内沢小学校への前田小学校の統合、これに向けた取組につきましても、4月16日、米内沢小学校、前田小学校の両PTAにうかがいました。計画等について意見を伺いながら、丁寧に進めていきたいと思っております。</p> <p>阿仁学園開校に向けても、それから米内沢小学校と前田小学校の統合に向けても、誠実丁寧に説明し理解を得ながら対応してまいりたいと思っております。</p> |
| 津谷市長 | <p>ありがとうございました。それぞれ総務課、学校教育課から説明ありました。皆さんから御意見、御質問をお聞きしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> |
| 佐藤正俊委員 | <p>阿仁学園の開校に向けてです。先日、統合準備委員会からお便りが届いて、見させていただきました。これまで4回統合準備委員会が開かれて、大変難儀されていることが書かれていました。</p> <p>校章検討委員会では、清鷹小学校の校章をデザインされた木村先生にお願いしているという内容と、それから校歌検討委員会については、現在の阿仁中学校の「友よふるさとよ」と題した校歌が検討されていると書かれていました。</p> <p>私はこの校歌については大賛成です。ただ恐らく問題は、「三年（みとせ）」という、校歌の中にある内容だろうと思うのですが、これをぜひ活かしていただきながら、今まで卒業した子どもたちの思いも含めながら残していただきたいと私はそう思っています。</p> <p>どうか夢のある義務教育学校をつかってほしいと思っています。以前にもお話ししましたが、どんな学校ができるだろうと地域住民が関心を持っていますので、すばらしい、統合してよかったと思えるような学校をつかってほしいと希望します。</p> |
| 津谷市長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>愛情あふれる思いと夢のある熱のこもった佐藤正俊委員の御意見でありました。これに関しては、教育長。</p> |
| 佐藤教育長 | <p>実は、先日、阿仁生き活き大学に行って、阿仁の高齢者大学を受講している方々に、佐藤正俊委員が言われた統合準備委員会だよりをお見せして、義務教育学校とはどんな学校か、なぜ義務教育学校にしたのかという話をしたところでした。ちょうどいい機会を生涯学習課から与えてもらったと思っています。</p> <p>校歌については、先日、阿仁中学校にフラッと訪問して校長とお話ししてきたのですが、作詞者の大友先生とこの後やり取りしていく予定だということでした。</p> <p>やはり委員がおっしゃるように、校長も「三年」のところを考えていて、まさか「九年」にもできないし、「三年」で定着しているから、校長の思いとしては、「みとせ」に何か意味を持たせて、子どもたちに伝えていければということでした。</p> |

| | |
|--------|---|
| 佐藤教育長 | <p>例えば、「み」は自ら学ぶとか、「と」は共に頑張るとか、何かそういった言葉を合わせて、この後、小委員会で話し合われていくのではないかと考えています。</p> |
| 津谷市長 | <p>いずれにしろ、先ほど佐藤正俊委員からお話がありましたが、夢のある、そしてまたこれまで大切に培ってきた、そういう歴史を背負っている学校ですので、地域の方々も期待を持っていますので、我々行政としてもしっかり取り組んでまいりたいと思います。</p> |
| 佐藤正俊委員 | <p>振り返ると、阿仁中学校は平成3年の統合でしたから、その頃の文部科学省は「心の教育」というのを掲げていたと思います。その後、平成5年頃から「ふるさと教育」というのが主流になって、皆さんそれに取り組んだ記憶があります。</p> <p>おそらくは当時の校長先生が、ふるさと教育に向けた、そういう気持ちも入れて（作詞を）大友先生にお願いしたのでないだろうかと思いますが、校歌に題名がつくということは珍しかったので。必ず（学校の）式では「友よふるさとよ、斉唱」と言われていました。とても素敵な校歌だと感じていますので、お話しさせていただきました。</p> |
| 藤本委員 | <p>小・中学校の再編についてですが、米内沢小学校と前田小学校の統合に向けた会議がこれからも開かれると思います。これまで何回か出席させていただいていますが、今後は提案型の会議をしていただきたいと思います。</p> <p>私自身、浦田小学校の廃校を経験しまして、子どもや孫が地域にいない方々が、自治会の中心となって支えてくださっているのですが、やはり実感として、どうしても地域のプライドみたいなものがあつたのではないのかなということも、今でも保護者の仲間と話をする時があります。</p> <p>5年、10年経って、結局また米内沢小学校と前田小学校の統合の話をしなければならなくなるのは、既に10年前に分かっていたことではなかったのかと思いますので、意見をお聞きすることは大事ですけれども、そういった状況が分かる資料を、方針を示しながらの意見聴取という形にしていっていただきたいと思います。</p> |
| 小坂教育次長 | <p>これまでも何度か、地域または学校等に出向いて、皆さんの御意見をお聞きしてまいりました。</p> <p>そういった貴重な、それぞれの御意見をもとにしまして、こちらの方でも集約いたしまして、また、次の機会に活かしながら、しっかりと地域住民の声を聞き入れて、その上で教育委員会としてもしっかりとの方針を立てながら取り組んでまいりたいと考えております。</p> |
| 佐藤英樹委員 | <p>学校教育課でICTを活用した学習活動、家でどう使うかという説明がありました。県外の大都市圏では、コロナで休校になった場合にはタブレットを持ち帰って、教員と児童生徒がタブレットを使つての朝の会や、授業を進めているわけですけれど</p> |

| | |
|----------|--|
| 佐藤英樹委員 | <p>も、その辺の見通しは立てているのかどうか。また総務課では、阿仁学園の工事予定内容を挙げてありますけれども、ICTの活用をスムーズにするための環境づくりの工事は、この時点で入っているのかどうか。2点について伺いたいと思います。</p> |
| 山田学校教育課長 | <p>休校中、それから学級閉鎖、学年閉鎖時のタブレット使用についてですが、昨年度、学級閉鎖した一部の学校では、タブレットを使っの朝の会での健康観察や、どういうふうに勉強していますかと確認した実践もありました。</p> <p>環境がしっかり整っているかどうかということでは、今年度は全13校でそういう場合に備えてちゃんと準備が出来ているかしっかりと確認しながら、先生方の異動もありましたので、推進監が実際に学校に行って、指導なりもう一度伝えながら、準備はしていきたいと思っていますし、(各学校の) 差を埋めるべくやっていきたいと考えております。</p> <p>学校閉鎖、休校、学級閉鎖等につきましては、昨今の流れから(期間は)2、3日ぐらいで、1週間も何日も休校したり閉鎖したりする事態は避けるべくやっていきたいと考えております。逆に今度は、陽性になると、現在は10日、休業しなければならぬので、個々に応じた対応というのも、今年度は昨年度よりは出てくるのではないかなと思われま。</p> <p>そうなった時にタブレットを持ち帰って授業の様子を繋いで、その子どもに見せたり、その子どもと学級を繋ぐ役割にタブレットも使えるのではないかと考えているところ。</p> |
| 小笠原総務課長 | <p>阿仁学園の設備、ICTの接続環境につきましては、主な工事の内容には記載しておりませんが、Wi-Fi環境をきちんと活用できるように整備してまいります。</p> |
| 佐藤教育長 | <p>補足しますが、Wi-Fi環境のない御家庭に対して機器を貸し出すため、前年度の予算でルーターの購入は既に終わっております。</p> <p>現在各家庭に、ルーターを借りるか借りないか、使うためには各家庭で契約しなければいけないので、その契約を進めてくれるかということをお手紙を出して、学校ごとに確認している最中でございます。</p> <p>恐らく6月中にはそれがまとまって、持ち帰る環境は整うと思いますので、それに合わせて学校教育課長からお話あった持ち帰る時のルール等を定めていくことになると思います。</p> <p>実際にコロナの際には、学級閉鎖で使ったのは朝の会とかそういった形が多かったようですが、先生が学校に行けない環境になった時、コロナ陽性者ではないけれども、例えば、濃厚接触者となって行けなくなった場合等に、自宅から先生が授業をして、子どもたちが学級にいてタブレットを見て授業を進めていたというような事例もございまして、学校から自宅に配信するパターンと、逆に、教員が自宅から学校に配信する、そういった活用をされています。先日の全州市町村教育長会議の中でも、当市ともう一つの自治体が、そんなことをやってみたという話をしていたので、結</p> |

| | |
|----------|---|
| 佐藤教育長 | 構先進的な取組をしてもらっている当市の先生方はすごいなというふうに感じてきたところでございます。 |
| 佐藤正俊委員 | 持ち帰ってのルール、その内容はどのようなものですか。例えばタブレットは子どもたちに教材、あるいは先生とのオンライン授業だけ使えるような仕組みになっているのか。あるいは、普通のタブレットと同じように、YouTube なりゲームなり、何でもできるような状況になっているのか伺います。 |
| 山田学校教育課長 | <p>現在、YouTube 等を見ることができるようになっておりますので、親御さんにも渡す前に、家庭での見届けをお願いしますとか、子どもたちも、そういうアクセスをしても良いところとか良くないところとか、リテラシーの指導もしっかりとした上で、そこを明記しながらやっていくことになります。</p> <p>あと、保護者の方々にはいわゆる貸出しですので、破損等にも注意するよう、借用书という形になろうかと思うのですが、そのような趣旨のものもしっかりと書いていただくことになると思います。</p> |
| 佐藤正俊委員 | <p>本市で23日に全県生徒指導協議会が、交流センターでありましたね。</p> <p>その中身ですが、オンラインゲームによる依存症というか、健康管理面等難しい話し合いをしていたように記事が載っていました。もう依存症になっている子どもはたくさんいるようで、あきたリフレッシュ学園の児童生徒もそういう子どもたちが多いのでとても心配です。</p> <p>一日ごはん1食とか、あるいは片手でゲームをやりながらカップラーメンを食べているとか、睡眠不足にもなっている、ということを見ると、どうも家庭に持ち帰らせて、それはダメだ、やられないのだと言える状況にあるのか、今の家庭ではちょっとそこが心配です。</p> <p>やってはいけないよという厳しさが、子どもには通用していないのではないかと。タブレットなりスマートフォンなりを持ってはゲームし放題、やめることが出来ず、延々と続いていくゲームにのめり込んでいく。そうすると夜遅くまでとなっていく。ある国では12時以降は放送ストップというのも聞いたことがあるのですが、日本はそこまでは出来ないでいる。しっかりとルールを守っていける子どもを育てていく、私たちの役目なのだけども、なかなか難しいと感じています。</p> <p>やはり子どもの健康障害を考えると、本当に真剣に話し合っ進めていかないと、難しい課題だろうと思います。ただ貸して、オンラインで授業をやって、それでいいとは済まないというか、あるいはその機械本体自体を持って行って、きちんとやれない状況になる。家の人をお願いしてとか、子どもが止められる力をつけさせたいとか、それでは良い方向にはなかなか難しいなと感じます。いかがなものでしょうか。</p> |
| 津谷市長 | 大変難しい問題だと思うけども、これに対しては子どもに使ってもらう立場の学校教育課としては、遮断するわけにはいかないでしょうし。 |

| | |
|----------|---|
| 津谷市長 | <p>以前スマホが流行り始めた時に、いろんなスマホの弊害があるということで、教育委員会ではなかったかもしれませんが、講習会等をやったことがありました。そういうことも含めて様々な対応をしていかないと、佐藤正俊委員からもお話あったような問題が危惧されます。実際に世の中ではそういった被害が出ているので、教育サイドとしては、しっかり捉えていかなければならないと思います。</p> |
| 山田学校教育課長 | <p>佐藤正俊委員がおっしゃられたこと、市長がおっしゃること、私もそういう危機意識というのは同じように思っています。子どもたちが自らを律する心を育てるようにしていきたい、最終的には彼ら彼女たちの将来にもつながってきますし、ただそのために、保護者の方々にもいろいろ書類を書いていただきますが、その時に意識を持ってもらいたいですし、以前スマートフォンの時も取り組みがあったと思いますが、PTAの研修会とか、各校の生徒指導主事、校長を通じて、保護者の方々の意識を高めるための研修会とか、とにかくいろんな方向から、子どもたちにタブレットを持たせて、そういう環境をつくることに対する危機意識というか、いい面と危険な面、しっかりといろんな方向から意識を持っていただくように取り組んでいかなければいけないと現在考えているところです。</p> |
| 藤本委員 | <p>学校のタブレットで実際に検索すると、私たちが使っているスマホとかパソコンと違って、全部出てこないのではないかと、検索ワードとかブロックされているのではないかなと思うんですけど。実際に子どもが使っているタブレットは、「僕このYouTube見たいけど、これ（学校のタブレット）には出てこない、テレビで見れば何でも出てくるけど。タブレットは制限されるから出てこない」と言っているのでも、多分、検索してもそのキーワード的にブロックされているところがあると思います。</p> <p>私も高校生の娘のスマホは、ちょっと厳しいですけど夜8時半から朝5時まで使えないようにしています。でも逆に娘にしてみれば、特に同級生同士が、ちょっとしたことでいつでもLINEするということが、自分か入っていかないことが実は良いところもあると最近では理解してくれていますので、使う時間の設定とかそういったことはできるようになっているかと思っておりますので、そこの研究の仕方かなと思います。</p> |
| 津谷市長 | <p>貴重な現場の声をありがとうございます。</p> <p>その辺は少し研究してください。危険の度合いとか、そういうさっき申し上げたように、先生だけではなくて、その専門家に危険性を教えてもらえるような、それは保護者も含めてです。</p> <p>蒔苗委員もいらっしゃいますが、健康に良くないものではないかと思っておりますので、研究をしていただければありがたいなと思います。</p> |
| 佐藤教育長 | <p>先日の全県教育長会議で、大瀧村では子どもたちのWi-Fi保有率が3月末100%になったと教育長から紹介されました。今は毎日持ち帰らせて、家庭学習で使っているそうです。</p> |

| | |
|----------|--|
| 佐藤教育長 | <p>佐藤正俊委員が心配されているようなことがあるのではないかと皆さん聞いたのですが、子どもたちは約束を守って、しっかり使っているということで、4月から持ち帰らせているけれども、そういった心配は無用だとお話をさせていただきました。</p> <p>いずれ、今の世の中はそういった環境にありますので、子どもたちが学校のうちは規制されて駄目と言われていたのに、社会に出てからそこにはまってしまうとなると、これまた大変なことですから、大人に向けてどういったルールを活用していくかという能力も高めていかなければいけないと思いますから、どうやって有効活用を図っていくかというところをすごく感じます。</p> <p>これを機会に、家庭の中でも、一定のルールが出来ていってくれればよいなとも思っているところでもあります。</p> |
| 津谷市長 | <p>ぜひとも、頑張ってください。</p> <p>ほかにありますか。</p> |
| 蒔苗委員 | <p>教職員の働き方改革について、出退勤管理システムと校務支援システムの活用によって、良くなった点はどういうことがあるのかと、それから、それに引き続いて職務内容の精選というのがありますけれども、これは個人個人で精選するのか、それとも校長先生が決めてそれに従ってやるのかということ、それから家に持ち帰ってやる仕事は減ったのかどうか、お尋ねします。</p> |
| 山田学校教育課長 | <p>一つ目の出退勤管理システム、それから校務支援システムの活用についてですが、まず、出退勤管理システムにつきましては前にもお話ししたと思うのですが、導入以降、先生方自身が時間というもの、自分の勤務時間に対する意識が高まりまして、徐々にではありますが減ってきておりますし、先生方も無駄なく、会議とか時間を有効に活用する意識を持っておりますので、非常にそういう点では効果が生まれてきておまして、この後の教育委員会会議でもお話することですが、時間外在校等時間月45時間という目標についても、昨年度の段階で何とかクリアすることが出来ておりますので、継続して頑張っていきたいと思っております。</p> <p>校務支援システムの活用については、先ほども少し触れましたけれども、今年もシステムが改善されているんな成績処理とか、そういうのが非常に効率よくできるようになっているのですが、いかんせん、なかなか先生方にうまく伝わらずに、うまく活用するということが少ないというのがわかりましたので、昨年アンケートをとって、先ほど触れましたけれども、実際に推進監が学校へ行きまして、今回こういうふうシステムが新しくなりますのでぜひ活用してくださいというのを説明していくというのを今考えているところでもあります。</p> <p>二つ目の職務内容の精選とありますが、まず個人の精選もありますが、どちらかというと、学校の組織として職務内容の精選できるのではないかと考えております。特定の人に職務が偏ったりとか、逆に平準化というか、もっとならすことができるのではないかとこのところを、これについては、毎月の職員会議でやっているところを</p> |

| | |
|----------|---|
| 山田学校教育課長 | <p>時間もかかりますので、半年に1回、学校経営反省会というのを持ちながら、各学校とも重複している仕事がないかとかですね、個人というよりは組織としてやっている形が多いかと思います。</p> <p>そして、三つ目の持ち帰っての仕事は減っているかどうかというのについては、客観的にまだ持ち帰り仕事について、私どもの市教委としては残念ながら把握はしておりませんが、昨年の不祥事のこともありましたので、持ち帰り仕事を減らすべく、先ほどの職務内容の精選、そしてそのための校務支援システムの活用というふうを考えておりますので、持ち帰り仕事を減らすというのが最終的なゴールと考えているので、それに向けて取り組んでいきたいと考えているところです。</p> |
| 佐藤正俊委員 | <p>小学校の先生の休み時間ゼロというのが51%ぐらい、中学校の先生が47%ぐらいで、小学校の先生で平均して9分ちょっと休めるかどうか、そして中学校の先生が14分ちょっとという他県のアンケートの結果が載っていたと思います。管理システムになってから、学校内での仕事を休まずにやっている、そして家に持ち帰るのが多くなったということでした。そういうところを市としてもう一度検討されて、せつかくの働き改革ですし、先ほどから話している精選しながら仕事をしていくというのはとても大事なことだと思います。</p> <p>うちのほうの先生方は、良い方向で管理システムを活用しているのだらうと思いますが、行政の方から学校に伝えてあげてほしいと感じます。</p> |
| 佐藤教育長 | <p>学校教育課長に確認だけでも、先ほど、45時間をクリアしてあったという話をしましたが、時間外勤務が45時間以下になっているというのは平均値ですよ。</p> |
| 山田学校教育課長 | <p>はい、市内13の小・中学校の先生方の1年間の平均が月45時間をクリアしているということです。</p> |
| 津谷市長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>スケジュール的にそろそろ生涯学習課の方に移りたいと思いますが、大変貴重な御意見や御提言をいただきました。これを十分に参考にしながら、先ほども答弁いただきましたけども、今年度の各種事業を進めていただきたいと思います。</p> <p>次に、生涯学習課長からお願いします。</p> |
| 小塚生涯学習課長 | <p>では資料の5ページです。</p> <p>1. 生涯学習事業の推進についての公民館講座です。市民の生きがい、学習機会を提供することが大切であることから、コムコムを含む各公民館が市民のニーズを取り込みながら、地域に還元できるものなどを提供しています。今年度は37講座を開設し、5月2日から16日までで募集期間が終了し、各講座がスタートしています。</p> <p>高齢者大学です。高齢者の学びと生きがいにつながっているもので、まさに生涯学習の本質だと思っています。合川、森吉、阿仁は全体での活動となりますが、鷹巣に</p> |

| | |
|-----------------|--|
| <p>小塚生涯学習課長</p> | <p>においては11のクラブに分かれ、自ら学び体験する活動が主であります。今年度は市内四つの大学で336人の大学生が入学しています。</p> <p>生涯学習事業の生涯学習フェスタ、冬の笑学校です。生涯学習フェスタは、各種公民館講座で学習した成果を発表することで、地域に還元し、今後の活動につなげることを目的に継続しております。また冬の笑楽校は、小学生を対象に学校では学ぶことの出来ない体験をしてもらうため、地域の企業の協力を得て開催しています。生涯学習フェスタは12月11日、冬の笑小学校は1月11日を予定しております。</p> <p>2. 次代を担う子どもたちの未来につながる事業です。学校家庭地域連携事業、学校運営協議会が市内小・中学校13校全てに設置され、地域学校協働推進員25名が学校と地域をつなぎ、学校も地域も元気になっていくことを期待しています。</p> <p>放課後子ども教室です。放課後や週末の子どもの居場所、豊かな人間を育み、地域の大人の参画で、体験交流することで地域コミュニティーが充実されるものです。児童クラブ単位で行われまして、20人の指導員の協力を得て活動しております。</p> <p>家庭支援チーム「にこっと」ですけれども、地域のイベント等に出向いて子育て相談をするほか、今年度は自らが開設するということになってございます。チーム員は8名となっております。</p> <p>放課後児童クラブです。放課後の児童の安心安全な居場所として、9施設15クラスで、今年は572人の児童が登録となっております。社会福祉協議会に鷹巣地区の4施設8クラスを委託し、合川、森吉、阿仁の5施設7クラブを直営で運営しております。なお、義務教育学校阿仁学園の開校のため、阿仁合小学校改修工事が令和5年度に予定されていることから、阿仁合小児童クラブの阿仁公民館への移設を考えてございまして、今年度中にそちらの改修を終了させたいと考えてございます。</p> <p>マタギの地恵体験学習です。国立市との交流を兼ね、国立市から15名、北秋田市から15名、計30名の小学校4年生から6年生を対象に、自然体験を通じ命をいただく大切さを知っていただきます。</p> <p>3. 市民ふれあいプラザについてです。来館者、利用者の利便性の向上、ここ数年、来館者は28万人程度で推移していましたが、新型コロナの影響により令和2年度は22万人、令和3年度は23万人となっております。今年度に入ってから回復している実感はしております。</p> <p>子育て世代支援ねまーる広場です。5人の保育士がローテーションを組み、2人体制で、自由来館により子どもと親のスキンシップを図りながら、子育ての悩みを聞いたりしています。市外からの来場も多くありまして、子育て世代の一助となっております。また、コムコムでの研修等で預かりが必要な方のための一時預かりもしております。</p> <p>チャレンジブースです。2か所ありまして、起業前の序走期間として2年間を上限に貸し付けしているものです。現在はボディケア「nico」と、足もみスペース「みっけ」が入っていましたが、「nico」が4月末で退去しまして1か所空きが出てございます。周知を図っておりますが、現在のところ1件問い合わせの電話はきてございません。引き続き周知を図ってまいります。</p> |
|-----------------|--|

| | |
|-----------------|--|
| <p>小塚生涯学習課長</p> | <p>4. 北海道・北東北の縄文遺跡群の世界文化遺産についてですが、昨年7月にユネスコ世界文化遺産に登録となり、来場者が増加しております。コロナが落ちついてきたこともありまして、県外からの団体ツアーの申請も多くなっています。また、県内の修学旅行も、昨年に引き続き申込みが多くなってございます。</p> <p>国のデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用し、積雪期に現地見学出来ない冬季間もデジタル技術を活用して2Dや3Dにより現地で遺跡を見学し、ガイドを聞いているような体験をできるシステムを整備いたします。</p> <p>伊勢堂岱遺跡周辺の周知や魅力アップを図るため、地域おこし協力隊1名を募集していきます。遺跡のガイドのほか、SNS等でのPRや体験プログラム等をコーディネートしていきたいと考えてございます。</p> <p>伊勢堂岱遺跡の魅力を広く伝えるため、市の商工観光課や関係部署と定期的な情報共有を図るほか、秋田県の鹿角、北秋田、山本の各振興局とも連携を図ってまいります。</p> <p>5. 伊勢堂岱遺跡ボランティアガイド事業です。春のゴールデンウィークは、5月3日から5日までジュニアボランティアが、その前後はワーキンググループがガイドしてございます。また、県の事業でございませけれども、ジュニアボランティアガイドが英語でガイドするといった事業も実施する予定でございませ。</p> <p>次のページ、6. 文化活動施設についてです。文化会館や浜辺の歌音楽館については、定期的な企画や展示を実施してまいります。なお、各施設は建築から30年以上経過している施設もありまして、安全に利用できるよう日常的な点検に一層気を配ります。</p> <p>文化会館については、舞台消幕とインターカムの装置の取り替えを実施しますが、利用者への影響を最小限にするよう配慮してまいります。</p> <p>浜辺の歌音楽館については、引き続き地元小学校の学びの場としての活用を進めてまいります。</p> <p>7. 市内の文化財についてです。市の指定する文化財については、平成30年から令和2年まで、個人所有を含め確認作業は一通り終了してございます。</p> <p>市が管理すべき文化財の適正な管理、保存を進めるほか、市以外が管理すべき文化財の確認をしてまいります。特に個人所有の文化財については、確認作業のサイクルを短くする必要があるのかなと考えてございます。</p> <p>旧合川東小学校、旧合川高校、旧合川南保育園、阿仁前田収蔵庫に分散していた文化財を、旧鷹巣南小学校1か所に集約しました。本年度は収蔵品の整理保存作業に入っております。</p> <p>最後にここには記載がありませんが、今まで実施してきました成人式については、成人年齢が引下げられましたが対象年齢は変更せず、「二十歳の集い」として8月15日開催に向けて準備を進めております。</p> |
| <p>津谷市長</p> | <p>生涯学習課の施策につきまして、御意見、御提案をお伺いしたいと思いますので、よろしく申し上げます。</p> |

| | |
|-----------------|--|
| <p>蒔苗委員</p> | <p>地域学校協働活動について意見を述べたいと思います。私が外来をやっている、午後から田植の指導をするというおばあさんが来まして、自分でも田植えをしてちょっと疲れて頭もボーっとしているけれども、子どもたちと接するのは張り合いがあって楽しいと言っておりました。</p> <p>協働活動に協力を求める場合には、年を取っているからとか、病院に行っているからとかということで遮断するのではなく、声かけをしてあげてはどうかと思いました。それがすごく人生の張り合いになって、ただ長生きしているというだけでなく、その地域に貢献したい、子どもたちに何かを伝えたいという気持ちを活かしてやれるような活動を支えていったらいいのではないかなと思いました。</p> |
| <p>津谷市長</p> | <p>ありがとうございます。</p> <p>大変温かい前向きなお話をいただきました。</p> |
| <p>小塚生涯学習課長</p> | <p>生涯学習課のみならず、学校教育課とも連携していますが、基本は学校も元気になる、地域も元気になることだと思います。</p> <p>令和2、3年度は予防接種を受けていない子どももおり、コロナの影響もあったのですが、これからはまた以前のように、地域も共に元気になるような事業をしていただきたいと思います。</p> |
| <p>藤本委員</p> | <p>関連して、学校のサポーターの方等は、ピンポイントでしかあたっていないので、多分、お孫さんと同居していない方は、参加したいけど誘われないと参加しにくいようなところがあると思われます。例えば、森吉地区であれば学校報が配られますので、その中で募集する形にするとか、ピンポイントでそういったことに長けた方に当たっていく組織が十分に出来ているんですけども、今おっしゃったように、つながりのない方も発掘して誘えるような意識を持てたらと、今話を聞いていて思いました。</p> |
| <p>小塚生涯学習課長</p> | <p>もちろん学校報が地域で配られるといったところもあるでしょうし、また我々も公民館便りといったものを各地区に配布させていただいていますので、そういったものを活用しながら、地域から私も出たいと手が挙がるように考えていきたいと思えます。</p> |
| <p>津谷市長</p> | <p>町内に小学生がいなかったりするところもありますが、そういうところの人でも何かのかたちで協力してくれる人もいるのではないのでしょうか</p> |
| <p>佐藤正俊委員</p> | <p>先ほどお話しされた文化財保護ですが、最後の7. 適正な管理と保存は大事なことだと思います。これをどういうふうを活用していくのか。ただあるだけではなくて、</p> |

| | |
|------------|--|
| 佐藤正俊委員 | <p>どこかで見られるようにするとか、おそらくそういうものがたくさんあるんだろうなと思うのですが。</p> <p>もう1点は、これはとてもうれしかったニュースでした。大館鳳鳴高の村上君と米山さんと、国際情報学院の佐賀さん、ジュニアボランティアガイドで記事になっていましたね。それからニュースでも堂々とお話をしてくださっている姿を見ると、それぞれが7年、8年の実績というか、経験があるので、おそらく誰に聞かせても恥ずかしくないガイドをしているのだらうなと感心しました。ああいう記事を見て、他の子どもたちも私も僕もという気持ちになってくれると思うので、ぜひこれを広めて、世界に誇る遺産にしてほしいなと感じています。</p> |
| 小塚生涯学習課長 | <p>まずは文化財につきまして、先ほど説明したとおり、とりあえず1か所に集めたところが実際の話でございまして、それらをきれいにリストアップ、整理することを今年度やろうかなと思っています。</p> <p>それが終わった暁には、どう市民の皆様に見ていただけるか、そういったことを検討しなければいけないかなと思っていますが、例えば今年度、文化会館で開催した松尾さんの絵画の展示のように、何品か運び込んで見せるといったことも検討していければと思いますし、もうちょっと環境がよければ旧南小学校自体でも見ていただくようなことも検討していかなければなと思っていますが、残念ながら今はそこまで出来ていないといったところが実情でございます。</p> <p>ジュニアボランティアガイド、私も今年の連休中、3日のうち2日ほどつき合っただけですが、私が見ても立派だと思いますし、聞いたところ自分でも興味を持って調べているそうなんです。まさに人材発掘の一助になっているのかなと、そちらの道に進んでいただければと、個人的には勝手に思ったのですが、高校生で終わってしまうので、もうジュニアではなくなってしまうということですから、今後も引き続きそういうような方が随時出てくるようなことを期待して、ジュニアボランティアガイド事業に取り組んでまいりたいと思っています。</p> |
| 津谷市長 | <p>生涯学習課関係、先ほど申しあげましたように、高齢の方、地域の方、文化財、そこに飾っておくだけでなく、活用していただくということでよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>次に、スポーツ振興課長、お願いします。</p> |
| 野呂スポーツ振興課長 | <p>それでは、資料7ページとなります。</p> <p>スポーツ振興課の主要施策としましては、市が策定しました第2次総合計画後期基本計画、教育委員会が作成しております北秋田市スポーツ振興推進計画に記載しましたとおり、本市を取り巻くスポーツの現状と課題を踏まえ、目指す姿を、スポーツを通じて市民が健康で活力のある元気な北秋田と掲げ、三つの基本目標の達成に向けて取組を推進いたします。</p> |

| | |
|------------|--|
| 野呂スポーツ振興課長 | <p>一つ目としまして、スポーツ環境の充実についてですが、市民の多様なニーズに応じた施設環境の整備や、スポーツ推進委員との連携による安全安心にスポーツができる環境の充実を図るために、鷹巣体育館のメインアリーナの落雪対策工事、体育施設全般のLED照明化に向けた取組や、施設の老朽化による阿仁体育館閉鎖に向けた現在利用者の会場変更までの移行調整等に取り組んでいきます。また、スポーツ推進委員による旧町、地域単位での競技指導や運動教室の開催等取り組んでまいります。</p> <p>二つ目、生涯スポーツの推進とスポーツを通じた地域活性化ですが、市民のスポーツに対する多様なニーズに対応するため、いつでもどこでもスポーツに取り組むことができる環境の充実を図るために、スポーツ推進委員、スポーツ協会、協会加盟単位団体等と連携した市民スポーツの情報提供と、各種大会、イベント等のPRに取り組みます。また、二つのなわとび大会、100キロチャレンジマラソンの実施など、スポーツを通じた地域の活性化を図ります。スポーツ推進に関する市民意識調査の回答の中で、今後やってみたいスポーツ、運動の上位を示したウォーキングや散歩の運動実施機会の充実を図るため、ウォーキングコースの設定、PRに取り組みます。</p> <p>三つ目、競技スポーツの向上ですが、多様化するスポーツ活動を取り巻く環境において、子どもが積極的に運動、スポーツに親しみ取り組むことができる機会の充実を図るため、スポーツ、文化等合宿誘致事業の実施、スポーツ少年団指導者の育成及び底辺拡大、一流アスリートによるスポーツ教室等の開催に取り組んでいきます。また、市内開催の各種大会補助と、全県大会以上の大会参加児童生徒への出場費を補助し、負担軽減により競技力向上の一助となるよう支援してまいります。</p> |
| 津谷市長 | <p>それでは、スポーツ振興課関係につきまして、御意見、御提言をお願いいたします。</p> |
| 藤本委員 | <p>二つ申し上げます。チャレンジデーですけれども、今回QRコードがなくてもスマホで北秋田市チャレンジデーと入れただけで報告するところへすぐたどり着いて、簡単に報告できて年々改善されていることを感じました。また、スポーツ振興課と地区の方々との結びつきの良さというのも今回の数字に出たでしょうし、報告の仕方についても、丁寧な説明の文書とか様式をお配りした効果かと思いました。</p> <p>もう1点、子どもたちのスポ少活動ですけれども、この5、6年でびっくりするぐらい状況が変わってきていることを実感しています。娘が小学校6年生の時には、強と言われていた米内沢小学校の女子のミニバスもなくなってしまいましたし、今は他の地区と一緒に成り立っているのかと思いますけど、きっとこれも何年か経てば北秋田市で一つの競技チームしか出来ないようになっていくのではないかなというのは、昨日、子どもの野球の練習試合で親御さんたちと話ししながら、本当に心配な少年団の状況だと思っています。北秋田市全体で、子どもたちがいろんな競技を選んで体験したり参加できるということを考えていくとしたら、例えば、学校地区だけでは5年先は全然考えられないぐらいになっているのではないかなというふうに実感し</p> |

| | |
|------------|--|
| 藤本委員 | <p>ているところですので、ぜひ、その広範囲の情報やそういった人材を活用して、子どもたちのスポーツ活動を支えていただきたいと思いますと思っています。</p> |
| 野呂スポーツ振興課長 | <p>チャレンジデーにつきましては、今回QRコードも含めて、またホームページからの申し込みということで、いろいろ工夫して、住民の皆様が参加しやすい形、報告しやすい形ということで取り組みました。これからもいろいろな事業に際しましてはそういった方法で取り組んでまいりたいと考えています。</p> |
| | <p>スポ少活動については、やはり今の小学校がこういった形になって、これからはまた中学校の活動についても、スポ少化のようになるということを国の方で示してきているようですので、まず、私どもとしましては、そういった時に指導員の確保をしながら、そして地域で受け入れられるような、団体で受けられるような形とかを検討しながら、少しでもスポーツ活動を続けられるような形を考えていきたいと思ひます。</p> |
| 佐藤英樹委員 | <p>チャレンジデーについて、毎回この件が出ればスポーツ振興課に要望を出していましたが、今回苦勞されて勝利されたということで大変喜ばしいことであるし、相当頑張ってくれたと思いますので、この場を借りて感謝を申し上げたいと思ひます。全国の1位は(参加率)約94%ですので、次回はそれを目指し頑張ってください。秋田魁新報さんも2回も記事を出していただいておりますので、大変ありがたいと思ひます。来年もっと頑張ろうと思ひますのでよろしくお願い致します。</p> |
| 津谷市長 | <p>スポーツ振興課長、決意のほどを。</p> |
| 野呂スポーツ振興課長 | <p>チャレンジデー、3年ぶりということで準備しましたが、市民の関心も高かったと思ひます。そして、各事業所でのPRについては、報道のご協力があつたのだと思ひます。まずは市民の皆様の関心が高かったということが一番だと思ひます。</p> |
| 津谷市長 | <p>いろいろ御意見、御提案いただきました。これに奢ることなく、しっかりと取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>次に、案件(3)意見交換ですが、皆様方からいろんな御意見をいただきました。これだけは、言っておかなければということがありましたら、お受いたしますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、ないようですので、本日の案件は全て終了いたしましたので、進行を事務局にお返しいたします。</p> |
| 小坂教育次長 | <p>津谷市長、大変ありがとうございました。</p> <p>次第の5. その他になりますけれども、これまでの案件以外に委員の皆様から何かございますか。</p> |

| | |
|--------|--|
| 小坂教育次長 | なければ、以上をもちまして、令和3年度第1回北秋田市総合教育会議を閉会いたします。 本日はありがとうございました。 |
|--------|--|

(午後2時55分 閉会)